



東郷小学校だより

令和6年度 6号 (通 343号)

令和6年9月10日

文責：伊藤 礼輔

キラキラ笑顔で2学期がスタートしました



始業式 学校長挨拶より

長かった夏休みも終わり、今日から2学期が始まります。1学期の終業式で校長先生と一つだけ約束をしました。覚えていますか。それは「命を大切にすること」でした。今皆さんのキラキラした笑顔を見ると、休み中に事故やケガもなく元気に過ごすことができたようで大変嬉しいです。

さて、2学期は様々な行事があります。まずは運動会、そして学習発表会。今年に限っては11月に公開授業研究会といって沢山の先生が皆さんの授業の様子を見に来ることになっています。皆さんはそれぞれの行事に向けて、どのように取り組んでいきますか。6年生にとっては最後の運動会、学習発表会となります。小学校生活の集大成として、自分自身で納得できる取り組みにできるか否かは自分次第です。あきらめず最後まで「挑戦」してい

きましょう。期待しています。1年生から5年生のみなさんは、6年生の姿をしっかりと見ながら沢山学んでください。そして自分が6年生になったときにどんな姿になりたいのか、そこまでどんな力をつけたいのかを考えて行動してください。

さて、休み中にパリオリンピックがありました。私が一番心に残っているのは、スケートボードの堀米雄斗さんの最後の演技です。ここまで3回連続失敗していて、最後の演技に失敗すると最下位の可能性があるところで、自分にとって一番難しい技に挑戦、見事成功し大逆転の金メダルを獲得しました。私がすごいと思ったことは、金メダルを取ったことではなく、あの状況で最も難しい技に「挑戦」したことです。難易度を落として安全に演技をしても銀メダルや銅メダルには十分手が届くにもかかわらず、一番難しい技を選んだのです。

競技後、堀米選手は「1パーセントの可能性を最後まで信じてやった。」とコメントをしています。また「あの技は死ぬほど練習していたので、絶対決められると思っていた。」とも言っています。

今まで皆さんに「挑戦」することの大切さについて何度かお話をしました。「挑戦」するにはちょっと勇気が必要です。堀米選手はたくさん練習し成功できるといった「自信」をつけたことで、オリンピックの大舞台で「挑戦」することができました。

みなさんもこの2学期はたくさん勉強して「自信」をつけてその力を運動会や学習発表会で大いに発揮してください。

学校運営協議会の設置に向けて準備が進んでいます

夏休み中に、東郷小と高崎小の職員が一堂に会して「学校運営協議会」について勉強会を行いました。

現在、東根市は全校区で学校運営協議会の設置を目指し準備を進めています。

* 学校運営協議会とは

教育委員会より任命された委員が「子供や学校、地域が抱える課題の解決」や「学校の基本方針の実現」に向けて、協議や熟議を行う合議制機関。

* なぜ学校運営協議会が必要な？

近年、急激な社会変化に伴い、子供たちを取り巻く環境や学校、地域が支える課題は複雑化・多様化している。子供や学校、地域が抱える課題や、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、「社会総がかりでの教育の実現」が大切だから。

(引用：東根市コミュニティ・スクール学校運営協議会設置・運営マニュアルより)

地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。